

「ふれあいの里山」復活大作



日時	2021年3月6日(土) 10時00分～15時00分		
場所	金ヶ崎公園	天候	曇り時々晴れ
参加者	エコウイング会員 6名(うち午後のみ2名)、事務局 2名、計 8名		

● 午前

今年に入って、1月は正月で、2月は新型コロナの緊急事態宣言のため活動を休んだため、今日は3か月ぶりの活動になりました。3月になったものの、今日の金ヶ崎公園は曇りがちで、少し北からの風が吹き、まだ肌寒さを覚える天気でした。その中を、朝10時に6名のメンバーが活動に集まり、手指の消毒と検温、マスクの装着でコロナ対策をしてから会議室でミーティングしました。

そのあと、公園内のコースを巡って、昆虫を中心に自然観察をしましたが、まだ気温が低く日差しも少なかったこともあって、観察できた昆虫はごくわずかでした。

● 午後

午後はメンバーが2人増え、総勢8名で里山整備の活動に取り組みました。まず、公園の水路の一番下流に繁殖している特定外来植物の「オオフサモ」の除去をしました。これまで何回も見つかるたびに除去をしてきましたが、少しでも地下茎が残っていると生き残るため、なかなか根絶できません。今後も注意して除去作業を繰り返すしかありません。

その後、散策路の階段が10段ほど破損していたため、その修復をしました。ウバメガシやカナメモチの硬い木を伐り倒して、それを横木に使用して丈夫な階段を作りました。14時40分ごろ作業を終え、完成した階段を挟んで参加者全員で集合写真を撮り、会議室に戻って一休みして、15時ごろ無事に活動を終了しました。

● 次回の活動は、4月3日(土)の10時からの予定です。

公園の桜の花見には少し遅いかもかもしれませんが、春を満喫できる活動になると思います。たくさんの皆様のご参加をお待ちします。

自然観察(その1)



自然観察(その2)



自然観察(その3)



オオフサモの除去作業



散策路の階段修復作業(その1)



散策路の階段修復作業(その2)



完成した階段を挟んで集合写真



今日の自然観察日記(その1)

今日の金ヶ崎公園は、やや気温も低くあまり日差しもなかったので、観察できた種数はごくわずかでした。それでもガやチョウ、コウチュウ、カメムシ、アブなどのなかまが姿を見せてくれました。

マエアカスカシノメイガ



マエキトビエダシヤク



ベニシジミ



今日の自然観察日記(その2)

ナナホシテントウ



ヤマトデオキノコムシ



ヨコヅナサシガメの幼虫



ホソヒラタアブ

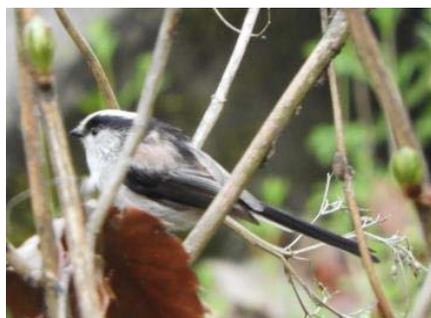


野鳥では、留鳥のメジロやエナガ、コゲラ、ヤマガラ、コサギ、アオサギなどが観察できましたが、ジョウビタキやシロハラなどの冬鳥は、3月になって北の国へ帰り始めたのか、ほとんど姿を見せませんでした。4月になると、キビタキやオオルリなどの夏鳥がやってくるのが期待できます。

メジロ



エナガ



コゲラ



ヤマガラ



コサギ



アオサギ



今日の自然観察日記(その3)

その他の生き物では、陽だまりの暖かさに誘われたのか、カタツムリが這い出してきました。植物では、コブシやトサミズキ、アセビなどの樹木の花やヒメオドリコソウやオオイヌノフグリ、カンサイタンポポなどの野草な花が、春の訪れを告げていたほか、ツクシも観察できました。

這い出してきたカタツムリ



コブシの花



トサミズキの花



アセビの花



ヒメオドリコソウの花



オオイヌノフグリの花



ホトケノザの花



スミレの花



カンサイタンポポの花



タネツケバナの花



によつきりと伸びたツクシ

